

2021年6月17日(木)～6月27日(日)

紀伊國屋サザンシアター
TAKASHIMAYA



ある八重子物語

井上ひさし作 丹野郁子演出

装置 勝野英雄
照明 前田照夫
衣裳 宮本宣子
音楽 八幡茂
効果 岩田直行
所作指導 西川瑞扇
舞台監督 深川絵美



出演
日色ともゑ
吉田陽子
桜井明美
中地美佐子
藤巻るも
有森也実〔客演〕
印南唯
加塩まり亜
佐々木郁美
清水川千紘

千葉茂則
横島亘
みやざこ夏穂
吉岡扶敏
塩田泰久
篠田三郎〔青山事務所〕
吉田正朗
平野尚
横山陽介
慎将吾



井上ひさし作 丹野郁子演出

ある八重子物語

神田川が隅田川へと流れこみ、花街として栄えた柳橋。舞台は、昭和16(1941)年から敗戦直後の昭和21(1946)年にかけての柳橋・古橋医院。

ここに集う人びとは、水谷八重子に心酔する古橋院長を筆頭

に、事務方、看護婦、女中まで全員が大の新派マニア。患者の身の上話もたちまち「婦系図」風の筋書きに。そこへ八重子そっくりの「音楽のような声」をもつ芸者花代が登場、恋愛事件もわきおこって大騒動。はたまた「女形の研究」に熱中するあまり、入営日に寝過ごし徴兵忌避者になってしまう大学生もからんで……。

新劇から出発して新派で活躍した初代・水谷八重子(1905~1979)。「世の中がいまより少しでもましになりますように」という新劇の考え方に影響を受け、「女優」という新しい職業の確立をめざした時代の先駆けとして知られています。水谷八重子の芸と生きざまに魅せられた人びとを爆笑とユーモラスな筆致で描く傑作戯曲です。昨年末にご覧いただいたこの作品を、更に練り上げて再び上演いたします。



◆一般前売開始 2021年5月11日(火)10時～

◆入場料金(全席指定・税込)

一般6,600円/夜チケット4,400円[夜公演全席]/
U30(30歳以下)3,300円・高校生以下1,100円
(枚数限定)[劇回のみ取り扱い、要証明書]

◆お申し込み・お問い合わせ

- 劇団民藝 044(987)7711 [月～土10時～18時] 劇団民藝
- 劇団民藝青山事務所 03(3401)5131
<http://www.gekidanmingei.co.jp/> 
- こまつ座 03(3862)5941
<http://www.komatsuza.co.jp/>
- チケットぴあ <https://pia.jp/> Pコード505-557
セブン-イレブン、ファミリーマート、チケットぴあ店舗
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード32886
[メールでのお問い合わせ] <https://l-tike.com/contact/>
- イープラス <https://eplus.jp/>
- キノチケットカウンター
(新宿駅東口・紀伊國屋書店新宿本店5F) [店頭販売10時～18時30分]
キノチケオンライン <https://store.kinokuniya.co.jp/ticket/>

◆バリアフリー観劇情報(ご利用の際は必ず事前にご連絡ください)

- バリアフリー割引あります。・車イス席・補助犬・点字チラシ・点字パンフレット承ります。
- 視覚障害者対象・事前舞台説明会
6月20日(日)、24日(木)、26日(土)12時30分～
- 聴覚障害者対象・台本事前貸出申込先 FAX 044(986)0034
E-MAIL seisaku@gekidanmingei.co.jp(当日受付でも筆談対応可能)→詳細はHPで

2021年6月17日(木)～6月27日(日)

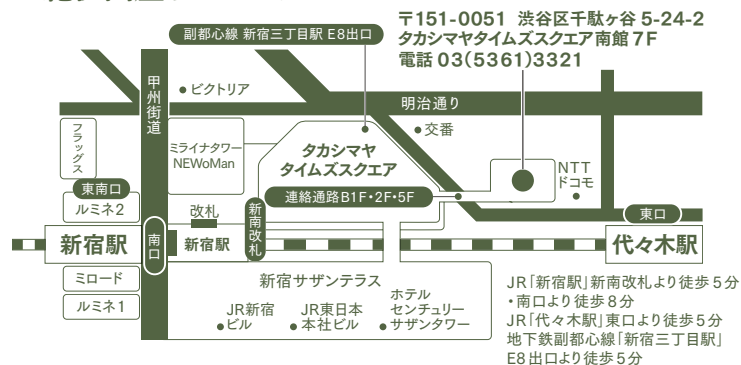
紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA

	6/17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
13:30	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
18:30	◆										◆

開場は開演の30分前・受付は開演の1時間前からです。

※視覚障害者対象・事前舞台説明会 6月20日(日)、24日(木)、26日(土)12時30分～

紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA[新宿南口]



[新型コロナウイルス感染拡大防止対策]

新型コロナウイルス感染拡大予防について
みなさまに安心してご観劇いただくために

- ①マスク着用
 - ②検温
 - ③手指消毒・手洗い
 - ④控えめな会話
 - ⑤社会的距離のご協力をお願いしております。
- 換気、拭き取りなど劇場の予防対策は、民藝HPでご覧いただけます。
※間隔を空けた座席エリアもご用意しております。
ご希望の方は劇回までお問い合わせください。